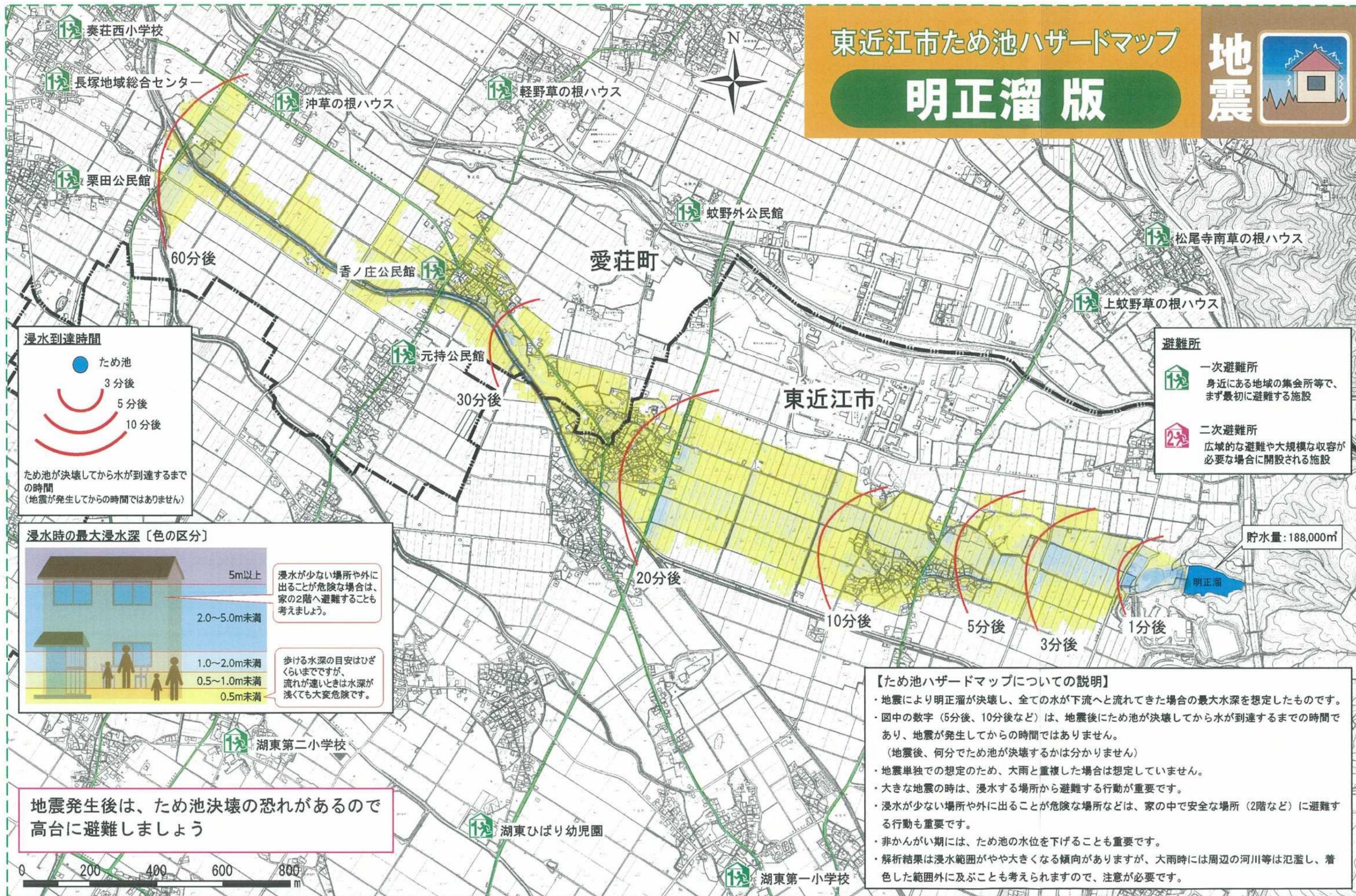
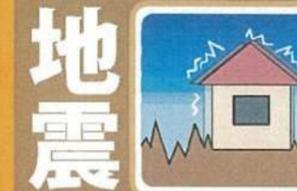


# 東近江市ため池ハザードマップ

## 明正溜 版



**浸水到達時間**

● ため池

3分後

5分後

10分後

ため池が決壊してから水が到達するまでの時間  
(地震が発生してからではありません)

**浸水時の最大浸水深 [色の区分]**

5m以上

2.0~5.0m未満

1.0~2.0m未満

0.5~1.0m未満

0.5m未満

浸水が少ない場所や外に出ることが危険な場合は、家の2階へ避難することも考えましょう。

歩ける水深の目安はひざくらいまでですが、流れが速いときは水深が浅くても大変危険です。

**避難所**

一次避難所  
身近にある地域の集会所等で、まず最初に避難する施設

二次避難所  
広域的な避難や大規模な収容が必要な場合に開設される施設

貯水量: 188,000m<sup>3</sup>

明正溜

**【ため池ハザードマップについての説明】**

- 地震により明正溜が決壊し、全ての水が下流へと流れてきた場合の最大水深を想定したものです。
- 図中の数字（5分後、10分後など）は、地震後にため池が決壊してから水が到達するまでの時間であり、地震が発生してからではありません。  
(地震後、何分でため池が決壊するかは分かりません)
- 地震単独での想定のため、大雨と重複した場合は想定していません。
- 大きな地震の時は、浸水する場所から避難する行動が重要です。
- 浸水が少ない場所や外に出ることが危険な場所などは、家の中で安全な場所（2階など）に避難する行動も重要です。
- 非かんがい期には、ため池の水位を下げることも重要です。
- 解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時には周辺の河川等は氾濫し、着色した範囲外に及ぶことも考えられますので、注意が必要です。

地震発生後は、ため池決壊の恐れがあるので高台に避難しましょう

